

10月 城南だより



令和8年9月30日（水）
東京都立城南特別支援学校長
濱野 建児

経験の積み重ねと成長への期待

校長 濱野 建児

今月、各学部で修学旅行を実施します。修学旅行は、子供たちが学校を離れ、実際の社会や文化に触れながら仲間と共に生活することで、自立心や協調性を育む大切な教育活動です。一人一人が新しい経験に挑戦し、人とのつながりを深めることを通して、将来の社会参加につながる学びを得ることを目的としています。特に本校では、「できることを広げること」「自分で選び行動すること」「社会とつながること」を大切な視点として修学旅行を位置付けています。

また、修学旅行は発達段階に応じた学びの機会でもあります。小学部では東京ディズニーランドを訪れ、公共の場でのマナーや集団行動について学びます。中学部では鎌倉の歴史や文化に触れながら、自ら考え判断して行動する力を育みます。高等部では鴨川での宿泊や自然体験を通して、自立や社会参加に必要な力を身に付けます。

一人一人が修学旅行でしか得られない貴重な経験を積み重ね、仲間との思い出とともに大きく成長して帰ってくることを願っています。

なかなかプール指導が実施できませんでした

副校長 西 健史

エルニーニョの影響でヨーロッパでは記録的猛暑となった今年の夏ですが、関東地方では、雨も多く、比較的過ごしやすい日々が多かったように思います。夏といえば学校ではプールの時期ですが、雨天や夜間気温の低下などにより条件が整わずに中止となってしまう日が多くあり、入水できない学習グループがありました。安全を第一に、入水の方法・人数、入水計画の策定期間など、検討課題としています。今年度の状況を踏まえ、より多くの児童・生徒が学習できるように検討してまいります。

お子様の“今”を見つめる3日間

副校長 瀬尾 三冬

10月6日（火）から8日（木）まで、授業参観と個人面談を実施します。授業参観では、学校での学習や友達との関わりなど、お子様が日々取り組む姿を御覧いただけます。教室で真剣に学ぶ姿や友達と笑顔で関わる様子など、学校だからこそ見られる一面に出会えるかもしれません。個人面談では、学校での様子と御家庭での様子を共有しながら、お子様のできるようになったことや頑張っていることを一緒に確認していきます。学校と家庭が同じ方向を向いてお子様の成長を支えるための大切な機会です。ぜひ御参加いただき、お子様の「今」の姿を感じていただければと思います。